

## I 平成23年度試験研究課題

推進項目	中項目	小課題	課 題 名	期間	担 当	P
1 地域の特性に応じた森林及びみどり環境の充実	(ア) 森林の多面的機能の発揮のための研究開発	地球環境及び国土を保全する森林管理技術の研究と開発	・造林未済地の把握技術及び天然更新を利用した森林化技術の開発	21-23	経営G, 環境G	15
			・森林の気象災害リスク予想モデルの開発	21-23	環境G	36
			・大規模表層雪崩に対する森林による減勢効果の研究	22-24	環境G	38
			・湿地生態系における樹木を介した土壌メタンの放出機構の解明	23-25	研究参事, 経営G, 企画G	28
			・酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査(環境省委託課題)	22-24	経営G, 機能G	12
			・対流圏オゾンなどの越境大気汚染物質濃度の測定とその植物影響	23	経営G, 研究参事, 道南支場, 道北支場	8
		道民の生活環境を守る森林管理技術の研究と開発	・冬期交通網確保のための防雪林造成管理技術の改善	21-23	環境G	39
			・土地改変地における植栽木衰退の診断技術の高度化に向けた基礎研究	22-24	環境G, 緑化G	41
			・海岸生クロマツにおける水ストレス評価方法の開発	23-25	環境G	42
			・森が支える養蜂業の実態評価と蜜源森林の管理の在り方に関する研究	22-23	環境G, 機能G	43
			・胆振地域における海岸流木のリサイクルに向けたシステム提案	23	道南支場, 環境G, 機能G	56
			・「森林－養蜂業－農業のつながり」の実態についての基礎的研究	23-24	環境G, 機能G	45
		森林とのふれあいや道民の森林づくり活動を支援する研究と技術開発	・森林レクリエーション空間における利用者数の把握と評価手法の検討	22-24	機能G	30
			・余暇活動の「市民権の見解」に基づく知的障害者のための森林活動の方策検討	23-25	機能G	31
	(イ) 森林の生物多様性保全と健全性維持のための研究開発	生物多様性を確保する森林管理技術の研究と開発	・北海道産サケ野生集団の評価と流域生態系の動植物に及ぼす影響の解明	21-23	機能G	32
			・環境利用情報を活用した遺伝子マーカーによる個体識別を用いたヒグマ生息密度推定法の開発	23-25	機能G, 環境G	34
			・森林の生物多様性保全のための立枯れ木管理方法の開発	22-24	保護G	27
			・溪畔域における溶存有機物(C, N)の動態モニタリング	22-26	機能G	35
			・生態系管理のためのエゾシカによる自然植生への影響把握と評価手法の確立	21-23	保護G, 道南支場, 研究参事	20
			・森林施業と組み合わせたエゾシカの効率的捕獲方法の確立	23	保護G, 道南支場	22
		森林・樹木の健全性を維持する研究と技術開発	・プラタナス類の衰退を起こす病原菌の生態と形態	23-25	保護G	19
			・遺伝子浸透を伴うマイマイガの種分化に関する研究	23-26	道東支場, 保護G	60
			・年輪解析によるウダイカンバ衰退パターンの抽出と衰退の発生に及ぼす食葉性昆虫の影響	23-25	経営G	9
			・林地未利用材等の活用によるエゾシカ侵入防止効果の検証	23-24	保護G	24
	(ウ) 身近なみどり環境の充実のための研究開発	北海道の風土に適した緑化樹等の新品種や生産技術の研究と開発	・道産桜における芳香成分等の新たな利用方法の開発	23-26	緑化G, 機能G	51
			・芳香成分を有する樹木の機能性評価および効率的な苗木生産技術の開発	21-25	緑化G, 機能G	52
		北国の環境に適した緑化技術や維持管理技術の研究と開発	・街路樹景観の造成・管理手法の体系化	22-24	緑化G	46
			・都市空間における快適な生活のためのツル植物を活用した緑化の実用化	23-26	緑化G, 機能G	47
			・造成跡地における海浜植物の保全回復手法の開発	22-23	緑化G, 機能G	48
			・石炭露天掘り跡地における樹林化技術の確立	20-24	緑化G, 機能G	50
			・共振測定装置(RMD)を用いた樹木非破壊腐朽診断の実用化のための基礎的研究	22-23	緑化G	54

推進項目	中項目	小課題	課 題 名	期間	担 当	P
2 林業の健全な発展及び森林資源の循環利用の推進	(ア) 林業の持続的な発展のための研究開発	森林資源の充実を図る育林技術の研究と開発	・地球温暖化と生産構造の変化に対応できる北海道農林業の構築	21-25	経営G, 研究参事, 道東支場, 道北支場, 環境G	4
			・「新たな住まい」と森林資源循環による持続可能な地域の形成	22-26	研究参事, 保護G, 環境G, 道北支場, 道東支場	29
			・トドマツ人工林資源の持続的・安定的利用を目指した新たな施業指針の確立	23-25	経営G, 保護G, 道東支場	14
			・コスト低減に配慮したブナ林の再生技術の高度化	21-23	道南支場	57
			・人工林における針葉樹天然更新技術の提案	22-25	道東支場, 経営G	61
			・ヒバ植栽地の成績に及ぼす要因の解明と対策の検討	23-25	道南支場, 保護G	59
			・広葉樹林化のための更新予測及び誘導技術の開発	19-23	経営G, 保護G, 機能G, 環境G, 道南支場, 道東支場, 企画G	17
			・北海道固有の森林再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの開発	22-25	道北支場, 経営G	62
	森林施業の低コスト化と森林資源の高度利用を図る技術の研究と開発	・カラマツ類を用いた短伐期・低コスト林業システムの開発	21-25	経営G, 道東支場	5	
		・緩中傾斜地に適した低コスト生産システムの開発	23-26	経営G, 道北支場	3	
		・育林省力化技術開発促進事業	23-25	経営G	6	
		・ITにより低コストに人工林材から内装材を製造する生産・加工システムの開発	23-25	経営G, 保護G	13	
	新たな品種開発に向けた林木育種技術の研究と高度化	・ポスト・クリーンラッチ時代に向けたグイマツ育種材料の拡充	22-24	経営G, 道北支場	10	
		・カラマツ類の効率的な着花促進法の検討	22-26	道北支場, 経営G	63	
		・森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発	22-26	経営G, 道北支場, 道東支場, 企画G	11	